

新3号館



地下2階
地上14階
高さ67.84m



2014年9月、早稲田キャンパスに新3号館が竣工しました。1933年に建てられた旧3号館は、政治経済学部の校舎として長く親しまれてきました。その外観や中庭、教室などの意匠を継承した新3号館は、新しさと伝統を兼ね備えた次世代教育空間として今後活躍することでしょう。鉄製の扉や瓦などは、旧3号館のものを再利用しているそうです。

風景の詩 II (2014)



「共生」
相田 和子さん
(1999年入会)



「路」
暮石 康子さん
(2002年入会)

基礎からの文章教室

「いまだこ？」

友塚 麻里子さん(2011年入会)

北陸本線全線開通100周年記念事業「一人ひとりの、北陸本線100周年」思い出エッセイコンテスト 最優秀賞受賞作品

新幹線を降りると、「はくたか」が待っていた。しばらく走ると、車窓に日本海が広がる。真っ青な海ではない。たいいてい薄いグレー色に煙っている。ふるさとまであと少し。

カバンの中の携帯がチリンと鳴る。〈今どこへん？〉来た来た。私を待ちわびる母からのメールだ。〈海のそば通過中〉ぶっきらぼうに返信する。やがて、あたりはのどかな田園風景となり、高岡が近づく。チリン、〈何時に着くがけ？〉又しても富山弁のメールが届く。到着時刻は何度も教えたのに。

八十六歳にして携帯を使いこなしていた、おしゃれな母が亡くなってもう二年。明日は三回忌だ。『いまだこメール』はもう来ない。わかっているのに、今も心のどこかで、それを待っている私。

高岡駅に到着した。駅や商店街の佇まいはあまり変わっていない。「高岡に着いたよ。お母さんは、いまだこ？」そっつつばやいてみる。兄の白い車を見つけ、手をふった。



ワセモリ ギャラリー

受講生の作品をご紹介します。今回は、「基礎からの文章教室」(花井正和先生)、「風景の詩II(2014)」(南口清二先生)講座を受講された方々の作品を取り上げました。